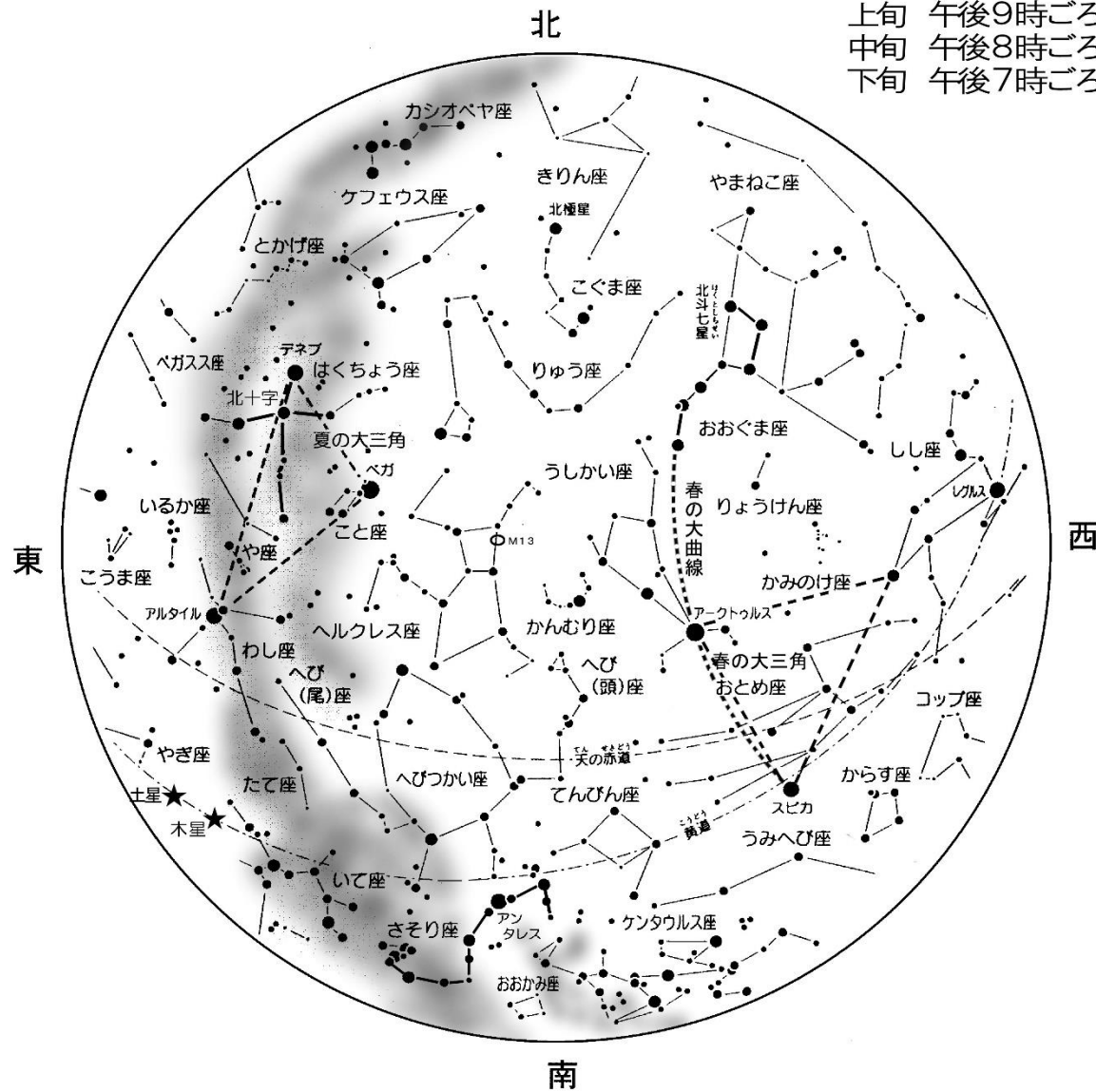


令和2年 7月の星空さんぽ☆ガイド ~ほしを眺めてみませんか~

上旬 午後9時ごろ
中旬 午後8時ごろ
下旬 午後7時ごろ



★7月の星空案内

夏の星座探しは、ちょうど頭の真上あたりでひとときわ明るく輝く星から始めましょう。この星は、こと座の1等星ベガで、七夕のお話に登場する“織り姫星”です。“彦星”はというと、七夕のお話のとおり、天の川を挟んで反対側で輝いています。ベガから南東に目線を移すと見つかる、わし座の1等星アルタイルが“彦星”です。ベガから北東に目線を移すと、はくちょう座の1等星デネブが見つかります。デネブから十字の形に星を結んでできる星の並びは『北十字』とよばれ、古くから空を飛ぶ鳥の姿に例えられてきました。デネブは、はくちょうのしっぽの部分で輝く星です。デネブ、ベガ、アルタイルを結ぶと『夏の三大角』ができ、夏の星座探しのよい案内役となります。また、南の空低いところで赤っぽく輝く星は、さそり座の1等星アンタレスです。さそり座は、アンタレスを含む「アルファベットのSの字」のような星の並びが目印です。さそり座から東に目線を移すと、木星と土星が輝いています。星座を形づくる恒星はチカチカと瞬いて見えますが、惑星はほとんど瞬きません。星空さんぽをしながら、恒星と惑星の輝き方の違いにも注目してみてください。

< 現在見える惑星 >

| | |
|--------------------|----------------------|
| 水星(2.1等前後):ふたご座付近 | 日の出前、東の低空で輝く。(中旬~下旬) |
| 金星(-4.4等前後):おうし座付近 | 日の出前、東の空でひとときわ明るく輝く。 |
| 火星(-0.8等前後):うお座付近 | 夜明け前、南東の空で赤く輝く。 |
| 木星(-2.7等前後):いて座付近 | 22時頃、南東の空で明るく輝く |
| 土星(0.1等前後):いて座付近 | 22時頃、南東の空で輝く。 |

注目の天文現象 ~天の川のそばで並んで輝く、木星と土星を楽しもう~

今年の夏、ひととき目を引くのは南の空低いところで明るく輝く木星と土星です。木星は7月14日、土星は7月21日に『衝(しょう)』となり、見ごろを迎えます。『衝』とは、太陽系の天体が、地球から見て太陽とちょうど反対側になる瞬間のことです。(図1)『衝』となった天体は、太陽が沈む頃に東の空から昇り、太陽が昇る頃に西の空に沈むので、一晩中観望することができます。また、地球とそれぞれの惑星との距離が近くなるため明るく見えています。やや高度は低いものの、木星は-2.7等、土星は0.1等の明るさで輝いていて、街中でも簡単に見つけることができるでしょう。

ここ数年、この2つの惑星の位置関係は、土星が東側、木星が西側になっています。この2つの惑星がこんなに接近して見えることはあまりないのですが、これからさらに接近を続け、12月の下旬に最接近して見えます。その後位置が入れ替わり、しばらくは土星が西側、木星が東側に見えるようになります。

街明かりのない所では、木星の西側に天の川も見ることができます。ぜひこの夏の宵は、天の川のそばで並んで輝く、木星と土星を楽しんでみてはいかがでしょうか。

| 日 | 曜 | 天文現象 | 日 | 曜 | 天文現象 |
|----|---|-------------------------|----|---|-----------------------------------|
| 5 | 日 | ○満月 (13:44) | 21 | 火 | ●新月 (02:33) 土星が衝 (08:35) 観望の好期 |
| 10 | 金 | 金星が最大光度 (16:44) 【-4.5等】 | | | |
| 13 | 月 | ●下弦 (08:29) | 23 | 木 | 水星が西方最大離角 (00:12) |
| 14 | 火 | 木星が衝 (18:10) 観望の好期 | 27 | 月 | ●上弦 (21:33) |